

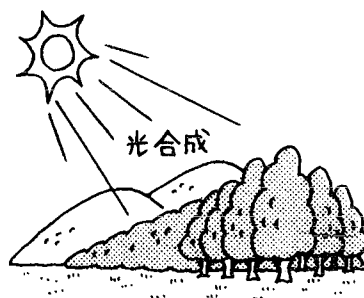
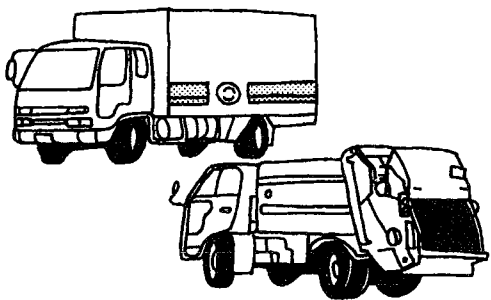
未来を守る新エネルギー

現在、エネルギー生産の中心となっているのは石油、石炭、天然ガスなどの化石燃料です。しかし、化石燃料には限りがあり永遠に使い続けることはできません。そこで、期待されているのが、風力発電や燃料電池、天然ガスコージェネレーションなどの新エネルギーです。ここでは、「廃食油の再利用」「バイオマスエネルギー」「太陽光発電」など、未来を守る新エネルギーについて紹介します。

廃食油を利用した新エネルギー

ふだん、みなさんの家庭では使わなくなった食用油、いわゆる廃食油はどのように処理していますか？ 多くの方は固めて燃えるゴミとして処分しているのではないのでしょうか。いままで、この廃食油が石けん、塗料などの原料として利用されている例はありますが、最近、家庭から出される廃食油を回収し、再生工場で化学反応させ、ディーゼルエンジン燃料として再利用する新エネルギーに関心が集まっています。植物油にメタノールと水酸化ナトリウムを加え化学反応させると、メチルエステルディーゼルエンジン燃料とグリセリンができ、グリセリンを主とする副生成物に適正な処理をします。この燃料を「エステル化燃料」といいます。すでに一部の地域で「エステル化燃料」を使用し、配送車やゴミ収集車が走っています。

河川、湖沼などの水質汚染の原因の一つである廃食油。各家庭で使いきることが一番ですが、個々の問題で、徹底するのは難しい面もあります。環境を守るために、廃食油を「エステル化燃料」としてリサイクルする新エネルギーは、いま注目されています。

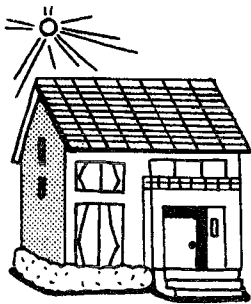


液をメタン発酵させたりして、クリーンエネルギーをつくることができます。地球温暖化防止に役立つ新エネルギー形態の一つとして、期待されています。

太陽光発電

太陽光を利用したエネルギーは、無限のエネルギーといえます。シリコン半導体などに光が当たると電気が発生する現象を利用した太陽電池を使って、「太陽エネルギー」を直接電気に変える発電方法です。

太陽電池は、時計、電卓、ソーラーカー、給油所、人工衛星などに使われています。また、太陽電池の直流電流をインバータで交流電流に変えて、住宅に利用する人も増えています。



バイオマスエネルギー

光合成によって太陽エネルギーを蓄えた植物を、エネルギーとして利用するもので、森林資源から得られる薪、木炭などの

バイオマスは同じ土地から繰り返し収穫できます。たとえばサトウキビのしぼりかすを使ったり、大豆加工工場から出る廃

固体燃料のほか、アルコール発酵・合成などから得られる液体燃料、家畜の排泄物などのメタン発酵から得られる気体燃料がバイオマスエネルギーといわれています。

バイオマスを燃焼させてエネルギーとして利用しても、もともとは大気中の二酸化炭素が固定されたものを使っていますので、利用と同時にバイオマスを育てれば、バランスを壊すことはありません。バランスに気をつけて大切に使用すれば、無くなることのない再生可能なエネルギーです。

催し物

古文書の会

とき 2月19日(土)
午前9時30分から
就業改善センター
※多数のご来場をお待ちしています。

えほんのへや

とき 毎週土曜日
午後1時30分から
公民図書館
※お気軽においでください。

春季村民囲碁将棋大会

とき 2月20日(日)
午前9時から
就業改善センター
参加費 600円(昼食代)
※村内在住、在勤の方などでも参加できます。
2月17日までに月潟村公民館もしくは、地区役員に申し込みください。

文化講演会を開催

月潟村文化協会主催の文化講演会を次のように開催します。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

月潟音頭のビデオをつくりました。

価格 2,000円
解説書付き

購入ご希望の方は、月潟村教育委員会
(☎375-1050) までお問い合わせ下さい。

3月4日(土) 午後3時〜 「三十九夜」
監督：アルフレッド・ヒッチコック
出演：マデリン・キャロル／ロバート・ドーナツ
ヒッチコックが影響を受けたと自ら語る、ジョン・バカンの小説を映画化。「北北西に道路をこれ」の原型になったともいわれるイギリス時代の傑作。
※星野隆さん(月潟)より電鉄の写真3点寄贈いただきました。ありがとうございます！
いただいた写真は、図書館展示コーナーに飾らせていただきました。是非ご覧ください！

映画会のお知らせ

戦後間もない混沌の時代をともに生きた恩師、友人、恋人の群像を綴る。事実と仮象の微妙な隙間を縫いながら、自らの創作の原点にかえった最後の作品。



図書館だより

新刊図書案内

- 人生の教科書「ルール」 藤原 和博・宮台 真司／著
「なぜそういふきまりなの？」——基本的な疑問をきちんと考える、中高生から大人までのユニークな社会の教科書。
- わかってきました。科学の急所 赤瀬川原平／著
老人力の大家は、実は「科学のファン」だった！失踪猫の探し方、「酔い」の研究、最先端の宇宙物理学まで、好奇心のおもむくまま科学の現場を訪問する。
- 夜明けの雷鳴 吉村 昭／著
新しい時代のうねりの中、箱館戦争に身を投じた博愛と義の人、高松凌雲。欧米で学んだ先端技術と共に、日本の近代医療に魂を吹き込んだ人物の波乱の生涯を描く。
- 彼女のプリンカ 中上 紀／著
卒業旅行でタイを訪れた咲。少数民族アカ族を曾祖母に持つ咲には、自分のルーツを訪ねる旅でもあった。第23回すばる文学賞受賞作。
- 道祖土家の猿嫁 坂東眞砂子／著
村の名家に嫁いできた猿ぞくりの嫁をめぐる人々の哀歓。百年のタイムスパンで日本人が歩んできた道を描く、直木賞作家の最新作。

辻 邦生／著